

図書名：「日本でいちばん大切にしたい会社」 著者：坂本 光司

出版社：あさ出版

住所広島県三次市君田町東入君 1036 番地 2 Tel (0824) 53-2008

三次市君田中学校 第 2 学年 <氏名>渡邊 晃介

私は、以前、テレビで報道されて気になっていた会社のことを知りたいと思っていました。それは、著者自らが 6,000 社を訪問調査し、その中から大切にしたい会社 5 社について書かれたこの本に紹介されていました。その会社は、チョークの製造をされている日本理化学工業という会社です。この会社で働く従業員の 7 割の方が、障害を持っている方でした。私は、会社では障害のある方もそうでない方も一緒に働いているものだと思っていました。しかし、会社では障害のある方を採用することは経営の面などから難しいことが分かりました。この会社の先代の社長さんが障害のある高校生の採用を決めて、一緒に仕事をすることになりましたが、数々の問題が発生しました。その 1 つ 1 つを解決していくうちに、「人を工程に合わせるのではなく、工程を人に合わせる」という発想の転換をしたそうです。私は、8 月に職場体験を終えて、会社とか働くことについて初めて真剣に考える機会がありました。いざ仕事をしてみると、従業員の方がテキパキと仕事をされている傍らで、何もできない自分がありました。仕事の大変さを実感した 5 日間でした。この体験と今回読んだ本から「いい会社」とはなんなのか、働くということはどんなことなのかを考えることができました。これから何年か後には、私もどこかに就職していかなくてはなりません。その時に向け、働くということについて考え、準備をしたいと思います。